

皆さんは、「地震に強い家」が欲しいですか？

ウチは、「地震に自信アリ！」（すいませんオヤジギャグにお付き合いいただいて）

お客様から「耐震等級3は、とれますか？」と聞かれる事がございます。

大変よく勉強されている方ですね。

耐震等級3とは、

「長期優良住宅の耐震性能が、建築基準法の1.5倍の強度ある家」

という事です。

これは、「耐力壁を1.5倍多く設置すればイイ！」というわけでは、

ありません。

1階と2階の床の剛性（強度）や屋根構造強度まで評価対象になります。

そして、長期優良住宅として認定するには、設計（性能）評価（有料）で机上の計算を行い、実施評価（有料）で施工中の検査を行い、認定されます。

ここまでやれば、もう安心！

大きな地震が来ても倒れない家ができるぞ!!

と思っているそこのアナタ！

次のページをご覧ください。

長期優良住宅の耐震実験

実験結果を予想下さい



長期優良住宅
2009年6月施行

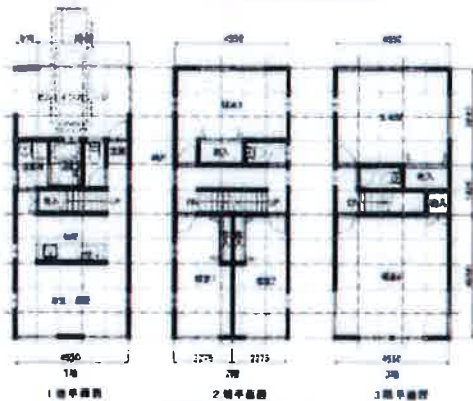
(独)防災科学技術研究所 兵庫県三木市

柱頭柱脚の接合部性能が
不十分なもの

長期優良住宅の認定基準に
適合するもの・耐震等級2

- ①左側の建物が倒れる
- ②どちらも倒れない

- ③両方とも倒れる
- ④右側が倒れる



合計136.55㎡

制振が働かない

耐震強化だけ

地震波との共振

長期優良住宅 崩壊



日経ホームビルダーより

なんと耐震等級 2（建築基準法の 1.25 倍）の建物が倒れ、
耐震等級 1（建築基準法と同じ強度）の建物が、持ちこたえて
います。

これは、建物の耐震強度をどんなに高めても、地震動の周期に
より、倒壊する可能性があるという事です。

周期ってナニ？

じゃあ、どうすればいいの？

また、来週お伝えしますね！